

東京都感染対策リーダー 養成研修のご案内

東京都看護協会では、東京都からの委託を受け、都内医療機関における感染対策のリーダー的役割を担うことができる人材育成を目的に「東京都感染対策リーダー養成研修」を計画いたしました。

本研修では、感染症ならびに感染対策に必要な知識・技術を修得した指導的役割を担う感染対策リーダーを養成して都内医療機関における感染対策の向上を目指します。令和4年度から3年間の計画で実施して参りました本研修事業は今回が最終年度となります。これまでに本研修を受講していないご施設からの積極的なお申込みをお待ちしております。

ご施設の感染対策の強化、感染対策に関わる人材育成にぜひご活用ください。

修了者の声

自施設にとってこの研修はレベルが高いのではないかと不安に感じていたが、手指衛生やPPEの着脱等現場に活かせる内容が多くあった。感染対策の課題が見いだせた半面、できていることも見え自信につながった。
(看護師)

演習では他の病院の現状や取り組みなどを聞くことができ大変参考になった。普段はPPEを着用する機会がないため、実際に着脱練習をして、手順や根拠など指導方法のポイントを理解できた。
(薬剤師)

臨床検査技師として感染対策を任され不安だったが、基礎から学ぶことができ、疑問の解決ができた。研修内容・学びを自施設の感染対策マニュアルの見直しに活用することができた。また、自信をもって指導に当たれるようになった。(臨床検査技師)

目的

施設内感染対策の取り組みに対して、リーダーシップを発揮できる人材の育成

- ・感染症、感染対策に関する基本的な知識・技術をアップデートできる
- ・自施設内の感染対策の取り組みを考えリーダーとして実践的な指導ができる

対象

都内医療機関に勤務する看護職・薬剤師・臨床検査技師

参加要件

- ① 感染対策リーダー、または今後リーダーを担う予定の者
- ② 病院長等からの推薦者

定員

200名

定員を超えた応募があった場合は、選考となります。
同一施設から複数応募いただいた場合には、調整させていただきます。

修了証

講義・演習の全時間数を出席・視聴、期日までに課題提出をされた方に修了証を発行します。

研修方法

オンライン研修
演習
オンデマンド研修

ライブ配信型 (Zoom予定)
集合研修 会場 公益社団法人東京都看護協会
eラーニングシステム使用

申込期間

令和6年7月1日(月) 9:00 ~ 7月31日(水) 17:00

申込方法

東京都受託事業 「東京都感染対策リーダー養成研修」の
専用フォームからお申し込みください。

URL https://www17.webcas.net/form/pub/tna/kansen_l

受講料
無料



東京都感染対策リーダー養成研修 プログラム概要

オンライン研修【ライブ配信】

令和6年9月29日(日) 13:00~15:30

(2.5時間)

No.	項目	科目	内容概要	講師(敬称略)
—		オリエンテーション	オリエンテーション 開会挨拶・事業趣旨説明	事務局 東京都看護協会
1	講義1	国内・東京都内の感染症の動向	・国内・東京都内の感染症の動向 ・質疑応答	大曲 貴夫 国立国際医療研究センター 国際感染症センター

演習【演習1・演習2】 日程の希望はできません 参加要件:10/26までにオンデマンド研修 講義No1~14視聴完了

A 日程 令和6年10月27日(日) 9:30~16:30

B 日程 令和6年11月10日(日) 9:30~16:30

(6時間)

No.	項目	科目	内容概要	講師(敬称略)
1	演習1	自施設の課題検討	・自己紹介・事前課題の共有 ・自施設の感染対策について、他施設と共有し、課題を明確にする	感染対策委員会委員 他 ファシリテーター
2	演習2	基本的な感染予防策の実践	・個人防護具の着脱について ・グループワーク	感染対策委員会委員 他 ファシリテーター

演習【演習3・演習4】 日程の希望はできません 参加要件:11/30までにオンデマンド研修 講義No15~34視聴完了

A 日程 令和6年12月1日(日) 9:30~16:30

B 日程 令和6年12月15日(日) 9:30~16:30

(6時間)

No.	項目	科目	内容概要	講師(敬称略)
1	演習3	ケーススタディ	・グループワーク ・事例検討 感染の危険性とその予防策	感染対策委員会委員 他 ファシリテーター
2	演習4	自施設の課題への対応	・グループワーク ・自施設での感染対策、アクションプラン作成	感染対策委員会委員 他 ファシリテーター

オンデマンド研修【配信期間】

令和6年9月20日(金)~令和6年11月30日(土)

※科目名の()の数字は動画撮影年を表しています。

(16時間)

No.	項目	科目	内容概要	講師(敬称略)	分
1	講義	感染の流行と感染管理の変遷('22)	・医療関連感染症の予防と管理 ・感染管理の基礎となる概念、理論	西川 美由紀 日本赤十字社医療センター	30
2	講義	感染の成立と予防に関する基本的考え方('22)	・感染成立の連鎖 ・感染予防とガイドライン	西川 美由紀 日本赤十字社医療センター	30
3	講義	医療関連感染微生物①('22)	・病原微生物の分類 ・臨床微生物検査 ・検体検査の取り扱いと管理	石川 和宏 聖路加国際病院	20
4	講義	医療関連感染微生物②('22)	・グラム染色・血液培養検査 ・薬剤感受性試験とその判定基準・耐性菌	渋谷 晃子 聖路加国際病院	10
5	講義	組織で取り組む感染管理と感染管理担当者の役割('22)	・感染管理担当者に期待される役割 ・組織で取り組む感染管理 ・感染対策と倫理的配慮	坂本 晴世 国際医療福祉大学大学院	50
6	講義	病院が安全に運営されるために('22)	・病院の理念と組織体制・危機管理体制について ・病院の危機管理・組織安全文化の確認 ・自施設の危機管理体制の評価	柳橋 礼子 東京都看護協会	20
7	講義	【事例紹介】アウトブレイクが起きたら病院はどうなる('22)	・新型コロナ発生初期下のクラスター発生状況とその対応 ・発覚までの経過・アウトブレイク時の状況 ・病院機能再開に向けての取り組み	北川 順子 令和あらかわ病院	30
8	講義	基本的な感染予防策の実践('22)	・標準予防策について・手指衛生について ・個人防護具について	佐々木 恭兵 感染対策委員	35
9	講義	感染経路別予防策(飛沫・空気・接触)①('22)	・飛沫予防策(インフルエンザ、COVID-19を中心に) ・空気予防策(結核を中心に)	堀井 久美 感染対策委員	30
10	講義	感染経路別予防策(飛沫・空気・接触)②('23)	・接触予防策とは・具体的な接触予防策について ・接触予防策に必要な個人防護具について ・実際の接触予防策(ノロウイルス・多剤耐性菌)	長井 直人 感染対策委員	30
11	講義	医療関連感染予防策①('22)	・血管内留置カテーテル関連感染予防策 ・発生機序・予防策とガイドライン・ケアバンドル	武田 悦恵 花と森の東京病院	25
12	講義	医療関連感染予防策②('23)	・尿道留置カテーテル関連感染予防策 ・発生機序・予防策とガイドライン・ケアバンドル	縣 智香子 東京医科歯科大学大学院	15
13	講義	医療関連感染予防策③('22)	・人工呼吸器関連肺炎(VAP)とは ・発生機序・予防策・ケアバンドル ・診断基準・VAPサーベイランスの基準	橋内 伸介 聖路加国際病院	30
14	講義	医療関連感染予防策④('22)	・手術部位感染(SSI)対策 ・SSIとは・SSIのリスク因子 ・推奨されているSSI対策・手術室の環境整備	小澤 賀子 日本看護協会看護研修学校	25

No.	項目	科目	内容概要	講師（敬称略）	分
15	講義	サーベイランス①（'22）	・医療関連感染サーベイランス ・総論・定義と目的・種類と特徴・方法 ・感染率（感染発生頻度）の測定方法・データ収集における留意点 ・感染症例の判定・サーベイランス結果のフィードバック	藤田 烈 国際医療福祉大学	50
16	講義	サーベイランス②（'22）	・微生物サーベイランス ・方法・効果的な取り組みとその実際	長井 直人 感染対策委員	20
17	講義	サーベイランス③（'22）	・手指衛生サーベイランス ・方法・効果的な取り組みとその実際	鈴木 由美 下志津病院	35
18	講義	サーベイランス④（'22）	・尿道カテーテル関連感染サーベイランスの意義 ・サーベイランスの種類・判定基準 ・医療器具使用比、感染率の評価	縣 智香子 東京医科歯科大学大学院	25
19	講義	施設内アウトブレイク時の対応（'22）	・アウトブレイクとは ・アウトブレイク対応の柱：早期発見とゾーニング ・初動体制と施設内感染管理体制 ・アウトブレイクを未然に防ぐために	木下 庸佑 感染対策委員	50
20	講義	新興感染症に伴うメンタルヘルスケア（'22）	・新興感染症がメンタルヘルスケアに及ぼす影響 ・新興感染症に関わる医療従事者のメンタルヘルスサポートシステム ・新興感染症陽性患者（利用者）とその家族のメンタルケア	奥野 史子 伊勢赤十字病院	40
21	講義	新興感染症のグリーフケア（'23）	・新興感染症感染者の終末期の対応 ・患者・利用者のケアの仕方 ・家族の対応の仕方（面会方法） ・職員の対応の仕方	小川 弘美 国立国際医療研究センター病院	30
22	講義	洗浄・消毒・滅菌（'22）	・再生処理工程 ・洗浄・消毒・滅菌 ・再生処理工程の中央化	小澤 賀子 日本看護協会看護研修学校	40
23	講義	ファシリティ・マネジメント①（'22）	・清掃・医療廃棄物管理・リネン類の取り扱い ・清掃と環境消毒について ・清掃・環境消毒に使用する消毒薬について、薬液の噴霧 ・高頻度接触環境表面水平面・垂直面の違い ・具体的な清掃方法と注意点	武良 由香 日本看護協会看護研修学校	50
24	講義	ファシリティ・マネジメント②（'22）	・感染経路と感染予防策の考え方 ・4つの感染経路・飛沫と飛沫核・エアロゾルの動態の違い ・空調・清浄度クラスと換気条件 ・メンテナンスの重要性・換気方式と換気の評価方法 ・換気を改善する具体的な戦略	堀 賢 順天堂大学	30
25	講義	職業感染と予防（予防接種含む）（'22）	・職業感染の概要・血液・体液曝露（針刺し）について・結核について ・ウイルス性疾患、ワクチンについて ・労災認定システムについて ・新型コロナウイルス感染時のサポートシステム	佐々木 恭兵 感染対策委員	30
26	講義	スタッフ教育（'22）	・医療法に基づいた法定研修について（年2回） ・院内感染対策研修の実践について ・スタッフの健康管理	佐藤 香理奈 東京都立大塚病院	20
27	講義	高齢・療養施設における感染対策（'22）	・高齢・療養施設における感染のリスク ・高齢・療養施設における感染予防策のポイント ・感染症の早期発見と対応 ・看護ケアの感染対策 ・有事に備える平時の取り組み ・加湿器の取り扱いについて	矢作 美佐子 東京臨海病院	30
28	講義	小児領域における感染対策（'22）	・小児領域における感染予防策のポイント ・病棟、外来での感染対策の実際 ・玩具の管理、面会、母子手帳について ・小児領域における医療関連感染のリスク	河西 貴子 慶應義塾大学病院	30
29	講義	産科領域における感染対策（'22）	・産科領域における感染対策の特徴 ・産科領域における感染リスク ・産科領域における感染予防策のポイント ・コロナ禍における産科領域の感染対策	中村 麻子 国際親善総合病院	30
30	講義	精神科領域における感染対策（'23）	・精神科領域の特殊性 ・とるべき対策 できること・難しいこと ・感染リスク ・対策のポイント	柳澤 敏子 感染対策委員	30
31	講義	外来における感染対策（'22）	・外来における医療関連感染のリスク ・外来における感染予防策のポイント ・標準予防策・経路別予防策	土屋 尚子 感染対策委員	30
32	講義	透析室における感染対策（'22）	・透析患者における感染対策の必要性 ・透析室における感染管理上の特殊性 ・透析室における感染対策のポイント	前多 香 東京北医療センター	30
33	講義	内視鏡室における感染対策（'22）	・内視鏡の特徴と医療関連感染のリスク ・予防策の根拠となるガイドライン ・内視鏡室における感染予防策のポイント ・十二指腸内視鏡による感染報告	武田 悦恵 花と森の東京病院	30
更新 34	講義	災害時における感染対策（'24）	・災害時における感染症のリスク ・災害時における院内感染予防策のポイント ・ライフラインの遮断から考えられること ・医療機関の日ごろの備え	西條 美恵 石巻赤十字病院	30

注1) プログラムは予告なしに変更する場合があります。 注2) オンデマンド講義は撮影当時の表現・用語で制作しています。

注3) 講師の所属は、令和6年4月1日時点のものです。

オンライン研修 ライブ配信型

- インターネット環境、受講者1名につき1台のパソコンを準備し、パソコン内蔵又は外付けのマイク・カメラが必要です。
- Zoomアプリを利用して、リアルタイムで講義を受けていただきます。
- 研修開始前までに、Zoomテストを済ませておいてください。また、所定日時に接続テストにご参加いただけます。

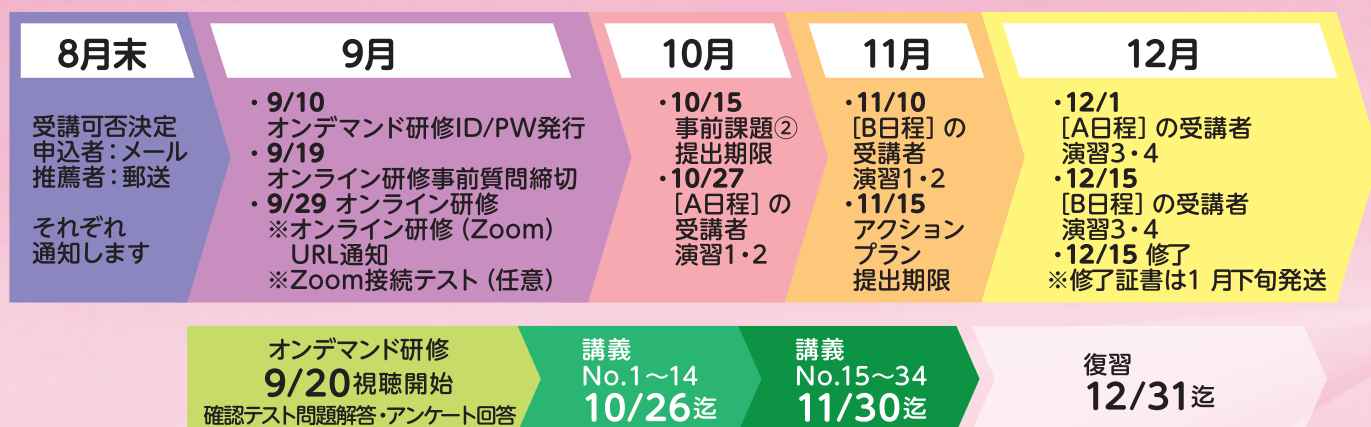
演 習

- 研修会場集合にて対面で実施します。

オンデマンド研修

- インターネット環境、パソコン・タブレットなどの端末が必要です。
- 自宅や勤務先など、場所を問わず講義を受講できます。
- 確認テスト問題で各講義の理解度を確認することができます。
- 配信期間内に繰り返し視聴するなど自分のペースで学習できます。
- 受講決定後に、視聴用のIDとパスワードをメールにて通知いたします。

受講スケジュール



事前課題

事前準備として自施設における感染対策について、事前課題を作成・提出していただきます。
詳細は受講決定時にご案内いたします。

申込・受講にあたってのお願い

- 事前課題・講義資料はご自身でダウンロードしていただきます。
- 研修受講用メールアドレスは、メール不達などのトラブルを防ぐため、**携帯キャリアメール** (例：@docomo.ne.jp、@ezweb.ne.jpなど) および**iCloud以外**でご登録をお願いします。
- 登録したメールアドレスは、研修終了時まで変更しないようにしてください。
- お使いのメールボックスの「迷惑メール設定」「受信拒否設定」「指定ドメイン受信設定」など、設定内容をご確認のうえ、@tna.or.jp が受信できるようにしておいてください。

本研修に関するお問合せ先

公益社団法人東京都看護協会 危機管理課 感染対策リーダー養成研修事務局
TEL. 03-6300-5447 Mail: kansen_2@tna.or.jp